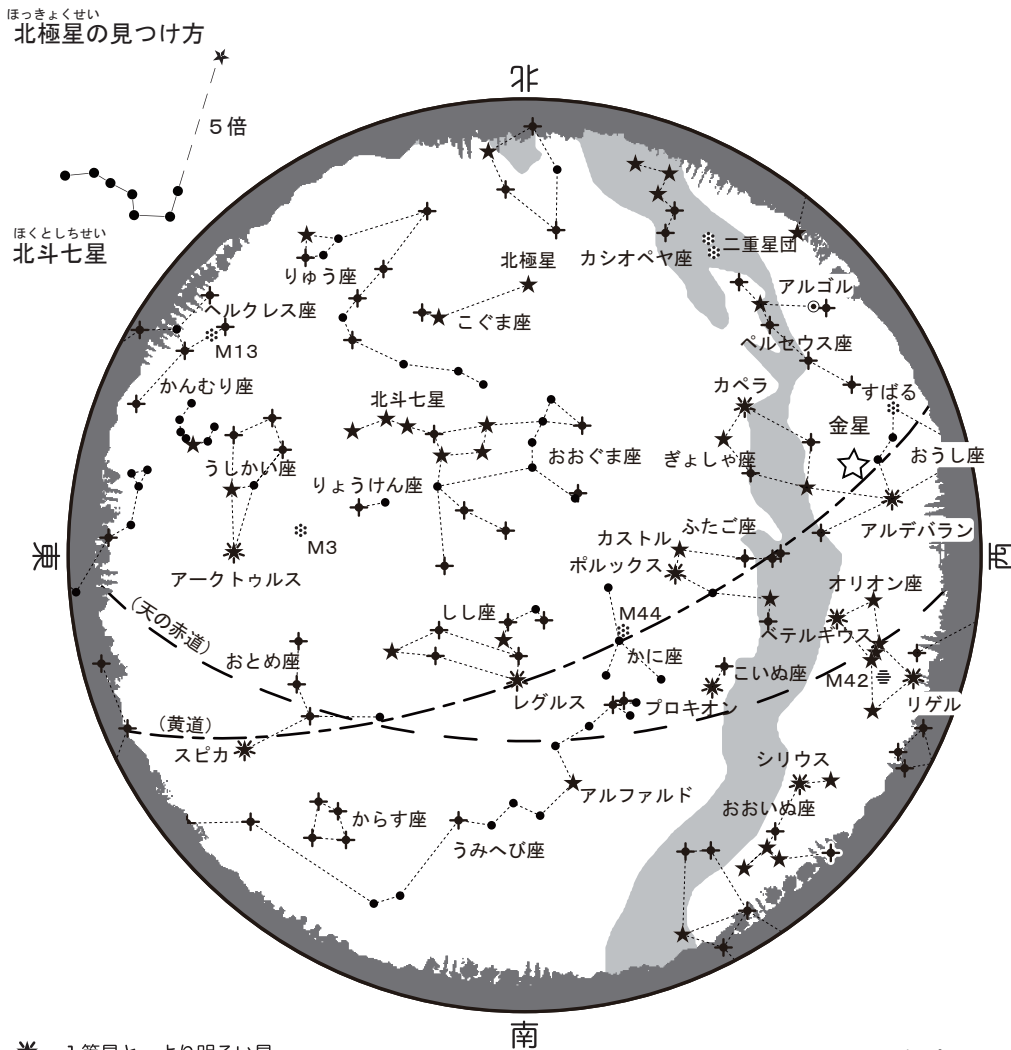


# 富山で見える 2020年4月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ⊛ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

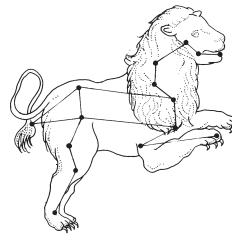
～この星空が見えるのは～

- 4月 5日 午後9時ころ
- 4月 20日 午後8時ころ
- 5月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

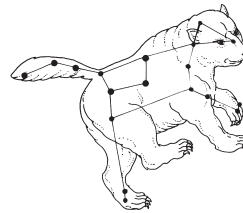
- 4月 1日上弦 ☾
- 4月 8日満月 ☽
- (今年最大の満月)
- 4月 15日下弦 ☾
- 4月 23日新月 ●

## しし座



「？」マークを左右裏返しにしたような星の並びがしし座の目印で、「ししの大鎌」といいます。この大鎌のいちばん下で白く輝く星が1等星のレグルス、しっぽの星が2等星のデネボラです。今にもジャンプしそうな姿を星空に作るすることができます。

## おおぐま座



北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまのおしりからしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、肉眼でも分かる二重星です。

## うしかい座



とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星の明るさは0等星で、「熊の番人」という意味があります。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いの飼っている犬です。

## おとめ座



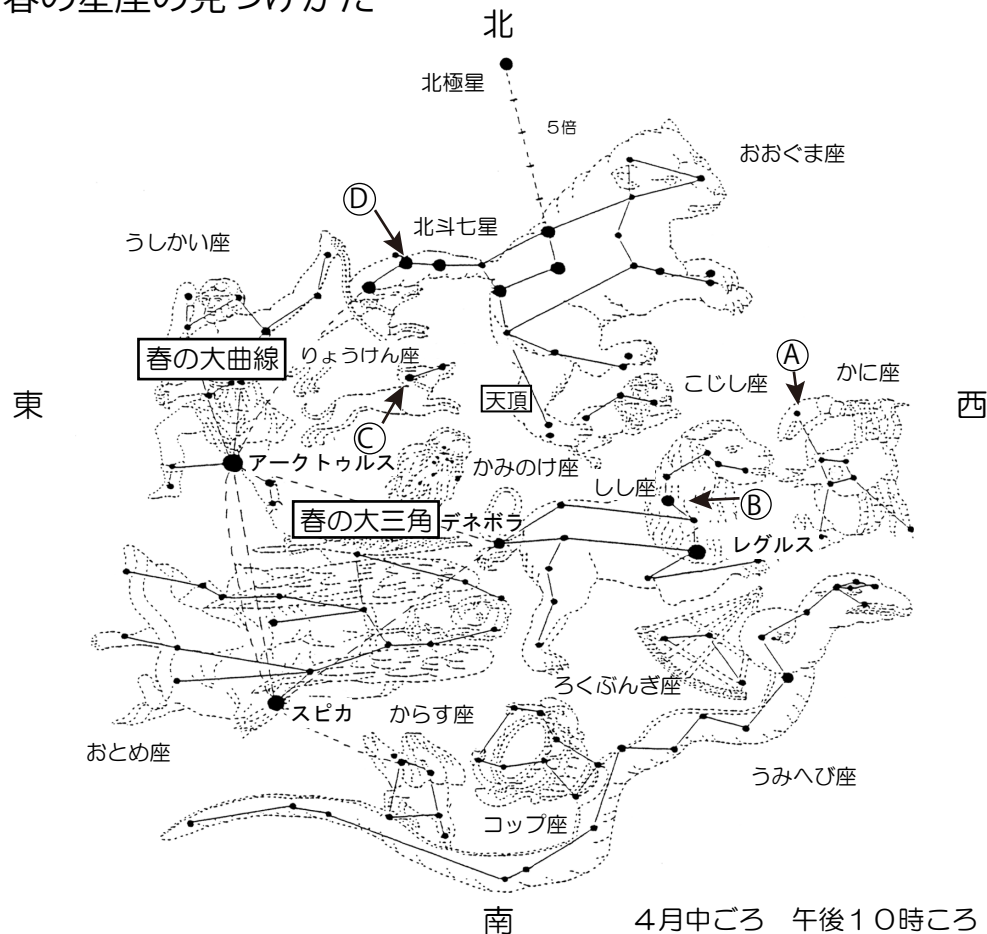
青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂の先という意味があります。

## うみへび座



かに座の南に頭があり、暗い星を東へずっとたどって長いヘビの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、神話ではヘルクレスに退治された怪物ヒドラです。うみへび座の背中には、ろくぶんぎ座とコップ座とからす座が乗っています。

# 春の星座の見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アークトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 北斗七星のはしの2つの星を結んで天頂方向に伸ばし、しし座のレグルスを見つけます。
- 5 星座の中でもっとも大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけることができると楽しいですね。

# 金星とプレアデス星団（すばる）の大接近

宵の明星として、夕方の西の空ですばらしいかがやきをみせている金星は、4月28日に最も明るくなります（マイナス4.5等）。その金星が4月4日をはじめ、おうし座のプレアデス星団（すばる）に大接近します。

金星が明るすぎて、このようすは肉眼では少し見づらいかもしれません。双眼鏡で見るのがおすすめです。



4月はじめの金星の位置  
西の空 午後8時

# 春の二重星

二重星とは、肉眼では1つにしか見えないけれど、望遠鏡で見ると二つの星だとわかる天体のことです。夏の星座のはくちょう座にあるアルビレオは、有名な二重星です。春の夜空にも、いろいろな二重星があります。

かに座 イオタ星 左図 (A)	しし座 アルギエバ (B)	りょうけん座 コル・カロリ (C)	おおぐま座 ミザール (D)
黄色と青色の色のちがいが美しい。	2つの金色の星がならぶ。ダルマの形に見える。	白い3等星の星とむらさき色の6等星がよりそう。	ともに白色をした2等星と4等星の星がならぶ。

それぞれ、明るさや色、その離れ具合にちがいがあり、とてもおもしろいです。春の二重星をめぐってみませんか。